

「労働力調査(詳細集計) 平成24年平均(速報)」 正誤表

		訂正箇所	
結果の概要 平成24年平均(速報)結果の概要 第1 雇用者(正規・非正規の職員・従業員の動向など) 8頁	本文	同項下のグラフ(週間就業時間が35時間以上の非正規の職員・従業員(男)及び週間就業時間が35時間以上の非正規の職員・従業員(女))も併せて訂正。	
		誤	正
		また、週間就業時間が35時間以上の非正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は100～199万円が <u>34.5%</u> 、200～299万円が <u>32.4%</u> などとなった。女性は100～199万円が <u>57.0%</u> 、200～299万円が <u>24.5%</u> などとなった。	また、週間就業時間が35時間以上の非正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は100～199万円が <u>32.4%</u> 、200～299万円が <u>30.4%</u> などとなった。女性は100～199万円が <u>54.6%</u> 、200～299万円が <u>23.5%</u> などとなった。

8 週35時間以上働いた非正規の職員・従業員の女性の年間収入は100～199万円が全体の5割超

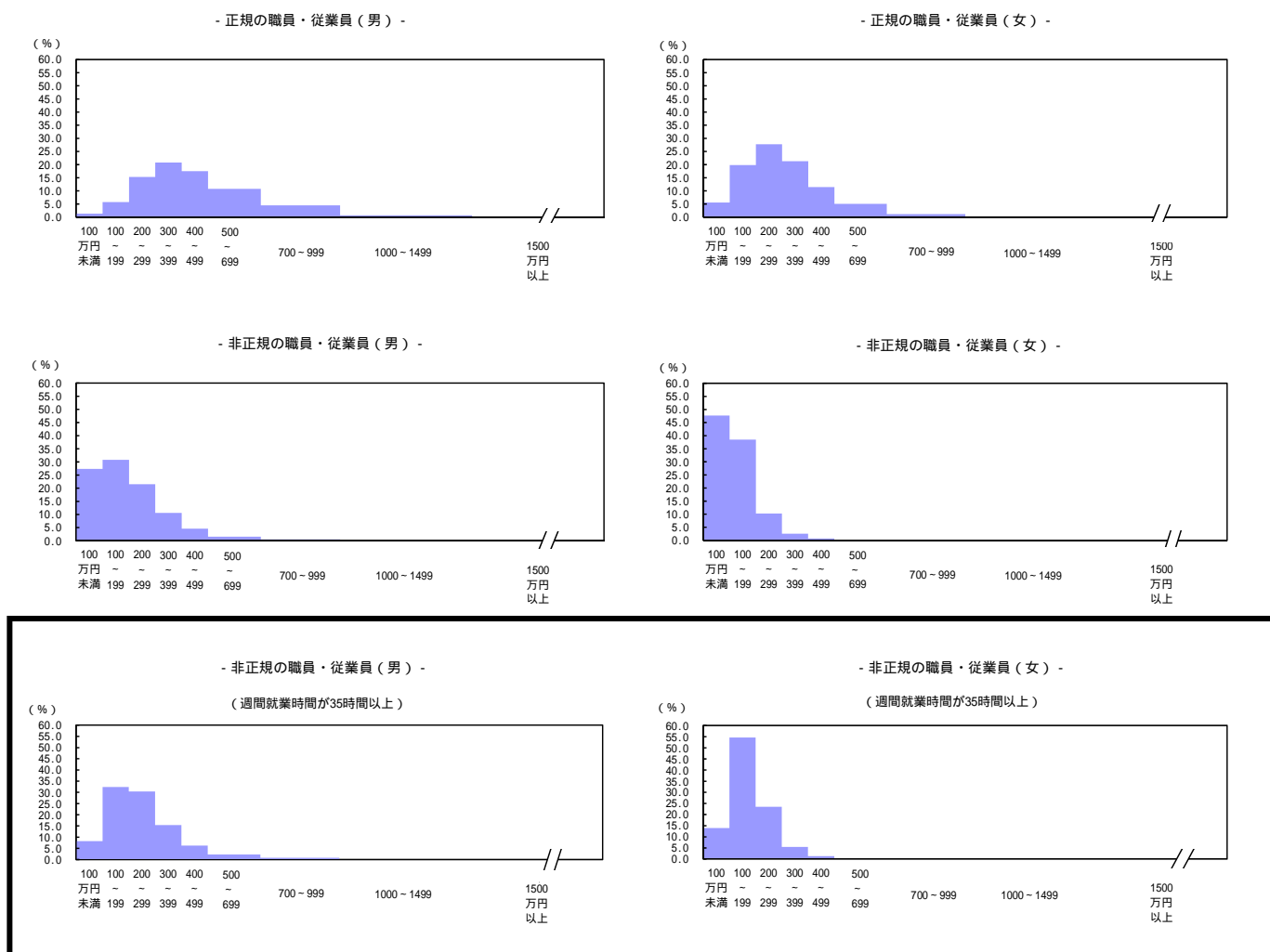
正規、非正規の職員・従業員別に仕事からの年間収入階級別割合を男女別にみると、男性の正規の職員・従業員は平成24年平均で500～699万円が21.6%，300～399万円が20.8%などとなった。一方、非正規の職員・従業員は100～199万円が30.8%，100万円未満が27.3%などとなった。

女性の正規の職員・従業員は200～299万円が27.7%，300～399万円が21.3%などとなった。一方、非正規の職員・従業員は100万円未満が47.7%，100～199万円が38.5%などとなった。

また、週間就業時間が35時間以上の非正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は100～199万円が32.4%，200～299万円が30.4%などとなった。女性は100～199万円が54.6%，200～299万円が23.5%などとなった。

(図8，表5)

図8 正規，非正規の職員・従業員の仕事からの年間収入階級別割合（平成24年）



注) 1. 割合は、仕事からの年間収入階級別内訳の合計に占める割合を示す。
 2. 仕事からの年間収入階級のうち、「500～699万円」以上は、階級幅が異なるので注意が必要。